

三鷹市立第六小学校 令和8年度【体育】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	/	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動することが好きで、なかよく楽しく活動ができている。 ○運動のルールについてもしっかり守る姿勢が全体としてみられる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○器具を使った運動遊びなどは積極的に楽しく運動できているが、ボールを使った運動遊びに関しては経験の差が大きく出ている。 ○チームでの運動遊びになると、他の児童に対しての声掛けが応援が中心で、運動の本身についてはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボールに慣れるために、日頃から休み時間などを通して経験する時間を増やしていく。 ○チームでの運動遊びにおいて、児童がみんなで作戦を考える時間をとる。作戦ボードやワークシート、考えるきっかけになるような動画や画像を事前に用意し児童に提示する。
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰にでも分かりやすい規則にしたことで、意欲的に取り組むことができた。また、気付いたことを友達に伝えることに前向きな姿が多く見られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な動きを理解して運動遊びを楽しむことや、友達と関わりながら活動することには個人差が見られる。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な運動遊びに対して楽しんで取り組むことができています。 ○友達と協働して学ぶ良さを実感し、だれとでもかかわって学習することができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童によって運動経験による差が大きいため、不安感を軽減しながら、運動する楽しさを感じられるように教材研究に努める。 	<p>【授業中に自分の考えを述べたり、他者の発言を集中して聞いたりする】を意識した授業を展開する。学習規律を育み、学級経営に活かしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童の考えを生かした授業づくりを実施し、ルールや単元展開と一緒に考え、児童の思考力を育む。 ○遊びの要素を大切に、運動することを楽しむ授業を展開すること、児童の運動経験の幅を広げ、技能の獲得を目指していく。
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いつでもどこでもだれとでも！」を合言葉に誰とでも励まし合ったり、学び合える集団を作ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3年生にとって、より高い技能に挑戦するために自分のレベルを把握できるよう、比較対象となる資料が必要。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「遊び」を意識しながら指導することで、運動の楽しさを実感しながら学習に取り組むことができています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○器械運動に関しては、技能差が見られ、得意な児童と不得意な児童の二極化が顕著であった。 ○空間認知能力、巧緻性は低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の第1時において、運動との出会いを大切にし、その運動の楽しさを存分に味わえる様な学習を組み立てる。 ○毎時間主運動の前に、遊びを通して、コーディネーション運動を意図的に取り入れていく。
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動そのものもっている特性を大切にし、児童に十分に特性を味わわせることで多くの児童が意欲的に運動に取り組むことができ+ C7+ 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すすんで運動に取り組み、友達と一緒に運動を楽しむ姿が見られた。 ○友達に運動の行い方を伝えようとする児童が多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○器械運動領域は、苦手意識をもつ児童が多いため、より楽しめる学習環境づくりをする。 ○自分の課題を明確にしたり、改善方法を考えたりする活動を十分に確保できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎時間、自分の課題を明確にする場面を設定するとともに、1時間に2～3回、ペアやグループで動きを見合い、具体的に助言し合う活動を取り入れる。 ○授業導入に、友達とかかわりながら行う運動遊びの時間を設定し、運動の楽しさを味わわせる。 ○ICT機器を活用して、自分の動きを客観的に振り返ることで、児童が自分の課題を把握して改善できる授業を展開する。 ○児童が自分の課題に合った場を選択して繰り返し取り組めるように、教師が運動の特性を理解し、課題に合わせた場を設定する。
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動のもつ楽しさを児童と共有し、遊びを通して学習を進めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題解決に向けて個人や仲間との学び方について指導を行ったが、今後も引き続き指導が必要である。技能だけの追求ではなく、主体的対話的で深い学びの実現に向けて、教師行動と環境に関する指導の工夫が必要である。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おおむね仲間と励まし合いながら、すすんで運動に取り組む姿が見られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○器械運動領域など、領域によっては意欲が低下する姿も見られる。 ○それぞれの領域の技能の高まりは見られるが、領域を横断して、学んだことを応用する力に伸びしろがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童に十分に運動の楽しさ（特性）を味わわせることができる学習にする。 ○運動を楽しむ中で結果として技能が身に付くような学びにする。 ○自己選択の多い授業デザインをし、児童が目的意識をもって、主体的に学習に取り組むことができるようにする。 ○児童の必要感に応じて、視覚資料を用意したり、単元の学習計画を柔軟に変更したりする。
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動のもつ楽しさを児童と共に共有し、その楽しさを味わえるように児童と合意形成を図りながら学習を展開できるようにしていく。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題解決に向けて個人や仲間と学び方を学ぶ時間を設定する必要がある。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動そのものも面白さ「特性」に触れることで、どの運動にも意欲的に取り組むことができています。 ○「いつでも どこでも だれとでも」を合言葉にペアやグループで励まし合ったり、教え合ったりすることができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動が好きなが多いが、苦手な子もより楽しく運動できるように、個にあった指導を大切にすること。 ○課題解決を行う際に、より技のポイントを意識して行うとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動そのものもっている特性を大切に、児童に十分に特性を味わわせることができる学習にする。その中で、三つの資質・能力を育んでいくことができるようにする。特に技能獲得を目指すのではなく、運動を楽しむ中で結果として技能が身に付くような学びにする。そうすることが苦手な子への一つの手立てとなる。 ○友達とかかわって行う運動や活動を意図的に多く取り入れ、一人ではできない、学校だからできる楽しさを味わわせる。 ○楽しい雰囲気をつくるだけでなく、児童が「できる」ようになったり、「わかる」ようになったりするように、教師自身がその運動の技能分析や特性について学ぶことが必要である。 ○振り返りの時間を大切に、必ず教員がコメント入れ、児童の思考力・判断力・表現力等を高める。